行政報告

令和3年第5回定例会

「いつでも市長室」7組70人実施
新型コロナウイルスワクチン3回目接種開始へ
ヘリテージ・ツーリズムで歴史・文化遺産の魅力を発信

令和3年第5回鹿角市議会定例会が11月29日から19日間の会期で開かれ、補正予算案などの議案が審議されました。初日に行われた市長の行政報告の概要は次のとおりです。

■ホストタウン推進事業

平成30年度から活動いただいた国際交流員のダンコー・アンドレア氏が、約3年の任期を終え9月末で退任されました。

ハンガリーの文化に親しむイベントや情報発信など、精力的に活動いただき、国際理解の向上に貢献されました。

帰国にあたり、総務大臣から「JET絆大使」に任命されており、今後とも、本市とショロン市との友好交流の懸け橋として、ご尽力くださることを期待しています。

■ふるさと鹿角応援寄附

11月21日現在、寄附件数は８６７９件、金額では1億1769万7763円となり、前年同期と比較し、寄附額で43・1％と大幅な増加となっています。例年、寄附額が大きく伸びる年末に向け、関連事業者と連携を密にし、りんごや米、きりたんぽなど、本市が誇る特産品の魅力を最大限に伝えながら、より多くの方々から応援をいただけるよう取り組んでいきます。

■若者世代ふるさとネットワーク構築事業

進学や就職のために市外に転出した25歳未満の若者を対象に、ふるさとへの愛着やつながりを継続していく取り組みとして、10月1日から、鹿角家U25（かづのけアンダーツーファイブ）の会員の募集を開始しました。10月末までの1カ月間で30人を超える方から加入いただき、入会者からは、地元愛の強さやつながりを望むようなコメントも寄せられています。

今後は、1月に開催する成人式で取り組みを周知し、さらなる会員の拡大を図るほか、広報などを通じて市内にいるご家族からも賛同いただけるよう、情報発信を進めていきます。

■災害への対応力のある地域づくり

10月3日、十和田市民センターを会場に、周辺の自主防災会や自治会などから参加いただき、鹿角市総合防災訓練を実施しました。

大規模な地震の発生を想定し、災害発生後の初期対応として、現地指揮本部の設置をはじめ、情報の収集や伝達、避難誘導、倒壊建物からの救出救護、初期消火など、住民が主体となった訓練を実施しました。今回の訓練を通して、改めて防災意識の重要性を確認するとともに、引き続き地域防災力の向上と関係機関との連携を強化していきます。

■市民との対話行政

対話や交流の場を創出する新たな取り組みとして、直接市民と対話を行う「いつでも市長室」を、9月17日からスタートしています。

これまで、7組、70人の方々と意見交換を行い、廃校舎の再利用に対する意見や、子どもが実践しているSDGsなど、特色ある取り組みについて伺っています。

引き続き、こうした対話を通して、市民の声や活動を幅広く伺いながら、地域の課題の把握と地域活性化策の検討を進め、皆さんの意見を市政に活かしていきます。

■医師確保対策

11月7日に、医療職を志す中高生のためのシンポジウムを開催しました。本市の医師修学資金制度を利用し、現在、県内の医療機関で研修されている研修医をはじめ、歯科医師や薬剤師、看護師など、実際に医療専門職として勤務されている方を講師に迎えたことで、医療職を目指す生徒にとっては、直接話を伺うことができる貴重な機会となりました。

■令和4年度保育園入園申し込み

11月1日から申し込みを開始しましたが、来年度からは、出産を予定している方や、現在育児休業中で年度途中から職場復帰を予定している方も、「入園の仮申込」をできるようにしました。年度途中からの入園も含め、年間の保育需要を踏まえて保育士を配置することにより、保育環境のさらなる充実を図っていきます。

■新型コロナウイルスワクチン接種

9月26日で集団接種を終了し、それ以降は新規12歳到達者や接種希望者に対して、個別接種を行っています。11月14日時点で、65歳以上の高齢者の93・6％が2回目接種を終え、接種対象者全体では、1回目接種を終えた方が91・1％、2回目接種を終えた方が90・4％となり、当初の想定を上回る接種率となっています。

3回目接種については、2回目接種から8カ月経過した方を対象に順次進めることとし、医療従事者の接種を1月から開始する予定です。住民接種は、2月から個別接種を開始し、4月以降は集団接種を並行して実施できるよう準備を進め、ワクチン接種希望者が安心して接種できるよう、きめ細かな周知に努め、関係機関と連携を図りながら万全の体制を整えていきます。

■かづの北限の桃

肥大時期の天候が安定したことから、JAの集荷量は前年比102％となり、販売額も前年とほぼ同額の1億3800万円となっています。また、産直販売やふるさと納税返礼品での売上げが好調で、認知度も向上し需要がますます高まっていることから、引き続き、関係団体と連携し、生産指導や作付拡大を支援しながら、ブランド力の向上に取り組んでいきます。

■ヘリテージ・ツーリズム推進事業

9月には、大湯環状列石などをコンテンツとしたオンラインツアーを開催したほか、11月18日には、外務省との共催による駐日外交団のツアーを開催し、本市が誇る歴史・文化遺産の魅力を発信しました。また、ジュニアガイドの育成研修のほか、関係するDMO同士の連携により、世界遺産ツアーやお土産となるお菓子の開発・販売など、民間主体の取り組みも活発に行われています。

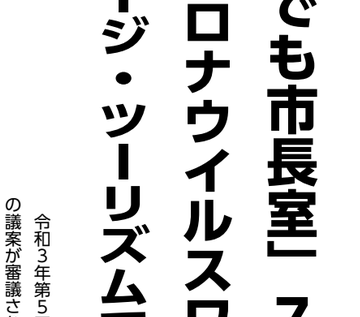
■市道除雪

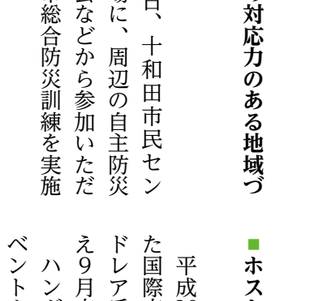
11月18日に、関係者や受託業者による除雪会議を開催し、除雪計画に基づく体制を整えました。今期は、市道に農道などを加えた約555キロメートルについて、除雪機械110台で除雪作業を実施する予定としており、冬期間における安全・安心な道路交通の確保に努めます。

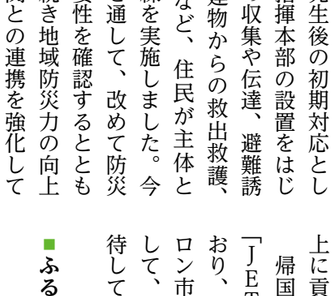
■第77回国民体育大会冬季大会スキー競技会

2月17日から20日までの日程で開催する予定ですが、選手が安全・安心に参加できるよう運営スタッフや参加選手団へのPCR検査を義務化するほか、会場内に感染症対応の救護所を設置することで、陽性者が発生した場合であっても地域医療に影響を与えないよう、万全の対策を講じていきます。

問 総務課 行政班 ☎30-0203


行政報告を行う関市長


総合防災訓練


医療職を志す中高生のためのシンポジウム

新型コロナウイルスワクチン接種

かづの北限の桃

駐日外交団のツアー